

## 蒲田駅周辺地区グランドデザイン骨子（案）



# 1. 蒲田駅周辺地区グランドデザイン 改定にあたって

## (1) まちづくりとグランドデザイン

蒲田駅周辺地区は、内包する課題や周辺状況の変化に対応しながら、将来像を掲げ、実現に向けたまちづくりを進めていくことが必要です。

まちづくりは、都市計画や産業、観光、文化、環境保全など幅広い分野にわたります。

グランドデザインでは、蒲田駅周辺地区の特徴を捉え、分野ごとに課題を整理した上で、そこからイメージされるまちの将来像を描きます。この将来像に向けて地域住民・事業者・行政が一体となってまちづくりを進めていくための基本的な方針・目標、実現に向けた方策を明示していきます。

## (2) 改定の背景・目的

### ●背景

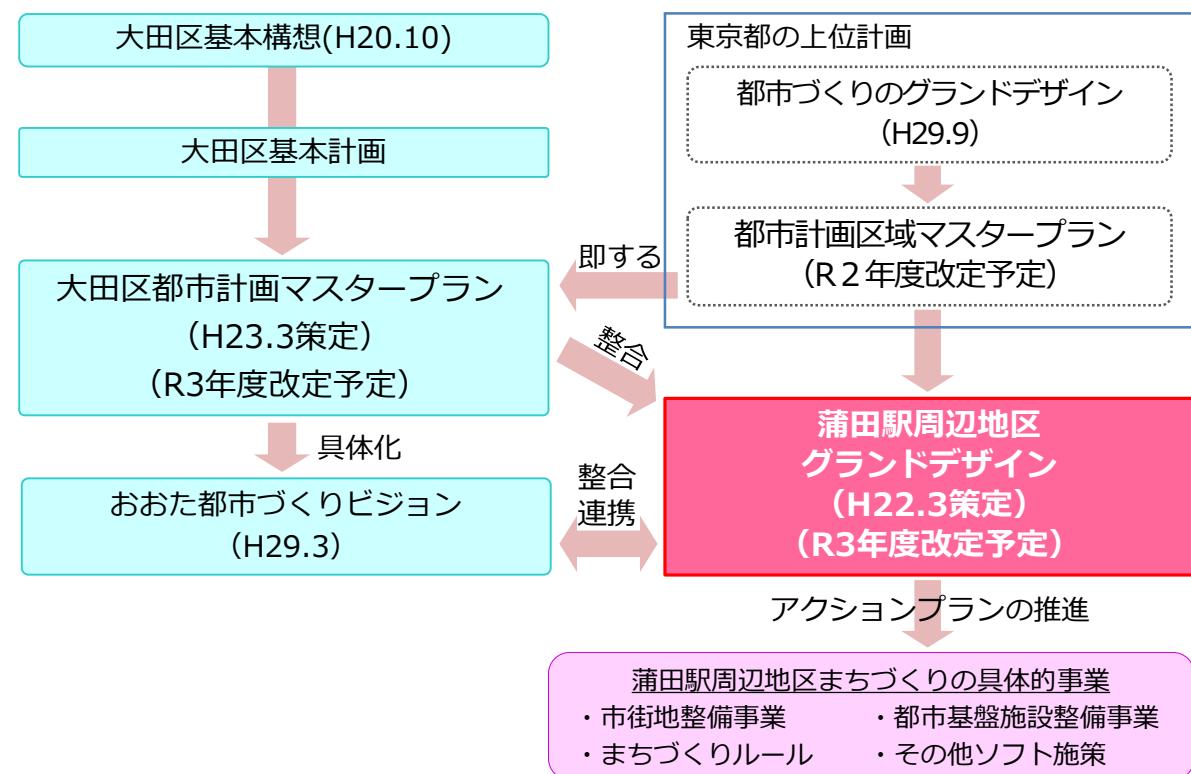
蒲田駅周辺地区グランドデザインは、平成22年（2010年）の策定からまもなく10年が経過します。策定以降、区内外を取巻く社会情勢や、蒲田駅周辺におけるまちづくりの動向に変化が生じています。また、駅や駅前広場など、蒲田駅周辺の都市基盤施設を一体的に捉えたまちの機能更新が必要となっています。

### ●目的

現在のグランドデザインの検証を行うと共に、更なるにぎわいや回遊性の向上を図り、将来に渡り持続可能な発展を目指すため、蒲田駅周辺地区グランドデザインの改定に向けた検討を令和元年度（2019年度）から開始します。

## (3) 蒲田駅周辺地区グランドデザインの位置付け

蒲田駅周辺地区グランドデザインは、蒲田駅周辺地区を対象として、区全体の都市計画の基本計画である「大田区都市計画マスタープラン」を具体化する計画として位置付けられます。



# 2. まちの将来像と求められる役割

現在のグランドデザインに掲げられているまちの将来像を尊重・継承した上で、今後求められる役割についても展望します。

## (1) まちの将来像

**にぎわいあふれる多文化都市**  
**誰もが安心して気持ちよく過ごせる**  
**人にやさしい蒲田**



誰もが安心して利用できるバリアフリーな駅舎、まちの東西を自由に行き来することができる連絡通路を抜けると、まちのシンボリックな風格ある駅前広場に出ます。広場はゆったりとした歩行者空間が広がり、高齢者、子ども、障がい者など誰にとっても移動しやすく快適であるように整備が行き届いています。オープンスペースでは野外コンサートなどが行われていて、まちに集う人たちのたまり場となっています。駅前から連なる商店街は、個性と魅力あふれる店が集積し、ショッピングや蒲田の食文化を楽しむ周辺居住者や観光客でにぎわっています。付近には、呑川緑道・旧逆川道路など、季節の移りを感じさせる魅力あふれる散策路があり、まちに新たな回遊を生みだしています。まちは、街路や建物・店先の清掃が行き届き、地元ボランティアによる花壇づくりや防犯パトロールなどにより、気持ちよく安心・安全な空間となっています。

包容力のある蒲田のまち、その居心地のよさと多文化な魅力は人をひきつけ、エネルギーを生み出しています。

## (2) 求められる役割

### 【これまで】

蒲田は東海道軸上に位置する商業業務地として発展してきました。また、ものづくりのまち大田の中心的役割も担っています。

### 【求められる役割】

新空港線や空港跡地の進展により新たな広域都市軸（新空港線軸）が形成され、東京都心や羽田空港との連携が強化されるなか、東海道軸と新空港線軸の結節点に位置する重要な地域の拠点としての役割が求められます。

重要な地域の拠点としての役割を果たすためには、交通結節点としての利便性を活かしながら、『広域的な拠点性を高める機能の強化・充実』と、『鉄道沿線の日常的な生活を支える機能の強化・充実』を両輪で進めていく必要があります。

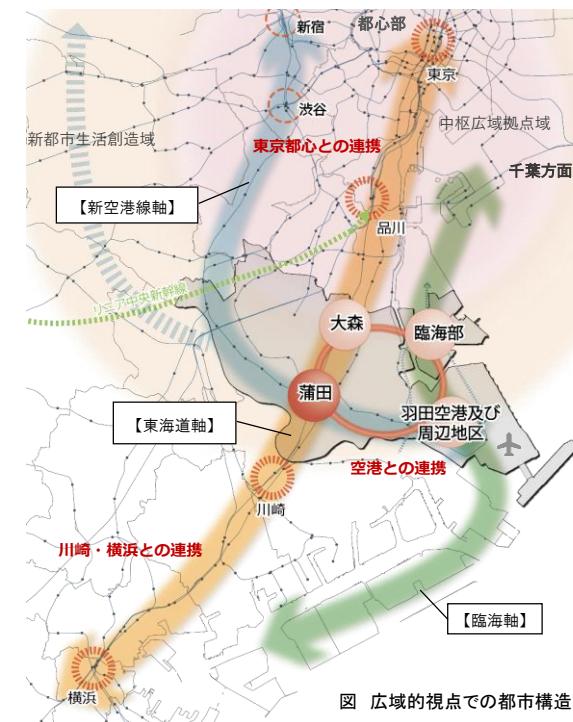


図 広域的視点での都市構造(案)

### 3. これからの蒲田のまちづくりで目指す姿

まちの将来像と求められる役割を踏まえて、蒲田のまちづくりの先に目指す姿を描きます。

#### 多彩な「活動」の創出、「空間」の充実、「環境」の整備

が相乗効果を生み出す

目指す姿 1

#### 文化・交流・にぎわいを生み出す多彩な「活動」が創出されるまち

個性や魅力ある店などによる商業活動や、ものづくり企業やグローバル企業による経済活動（産業）、暮らす人々による地域活動、観光客の受け入れを目指す活動などの多彩な「活動」により生まれた蒲田らしさが、人々を惹きつける魅力を高め、にぎわいがもたらされている。



※スケッチは仮の内容（現行GDより引用）

相乗効果

相乗効果

目指す姿 2

#### 地域の価値を高める「空間」が充実したまち

利便性の高い公共交通とそれを支える駅前空間や、駅前空間からまちへとスムーズにつながる歩行者空間、建物が生み出すゆとりある空間などの充実した都市「空間」が、人々を呼び込み回遊や滞留を促すことにより、地域全体の価値が高まっている。



※スケッチは仮の内容（現行GDより引用）

目指す姿 3

#### 安心して快適に過ごせる「環境」が整ったまち

災害に強い環境や、誰もが使いやすい環境、個性や魅力のある環境、自然を感じられる環境が、あらゆる人々に安心感・快適さ・安らぎを与えている。人々は豊かな「環境」が整った蒲田のまちに対して愛着や誇りを抱いている。



※スケッチは仮の内容（現行GDより引用）

相乗効果

### 4. 蒲田駅周辺地区の特徴

目指す姿の実現に向けて現状を把握するため、「まちの強み：拡充や新たに活用していくもの」と「まちの弱み：改善や回復を必要とするもの」を、近年のまちの変化や区民よりいただいたご意見なども踏まえながら、前段に挙げた蒲田のまちづくりの先に目指す姿に合わせて、3つの視点「活動・空間・環境」で再整理しました。

#### まちの強み・弱み

3つの視点	まちの強み	まちの弱み
① 活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりのまち大田区を中心拠点</li> <li>駅を中心とした多くの商店街の形成</li> <li>個性や活力のある店や商店街の存在</li> <li>若者・学生・外国人の増加</li> <li>芸術（音楽・美術等）を楽しめる施設、区民ホールアブリコ存在</li> <li>個性ある蒲田食文化</li> <li>羽田空港と近接する立地</li> <li>羽田空港の利用者や従業員の増加</li> <li>羽田空港跡地整備事業の進展</li> <li>利便性の高い住環境</li> <li>親しみやすさ</li> <li>文化・教育・交流の場の存在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店数の減少と後継者不足</li> <li>マンション開発等による商店街の連続性の喪失</li> <li>大規模店舗等の進出による個人商店への影響</li> <li>商業エリア全体の人の回遊性不足</li> <li>おしゃれなまちとしての感覚が不足</li> <li>歴史や観光資源が活かされていない</li> <li>空港内での大田区のPR不足</li> <li>町会などの従来型の地域コミュニティの希薄化</li> <li>多様化するニーズに対応しきれていない</li> </ul>
② 空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>京急空港線で直接結ばれている京急蒲田駅の利便性</li> <li>周辺地域の交通結節点として乗降客数が多い蒲田駅と京急蒲田駅</li> <li>蒲田駅を拠点とする、区内バス路線網の充実</li> <li>東急多摩川線・池上線の起点となっている蒲田駅</li> <li>多くの人が利用する駅・駅前広場</li> <li>基本となる道路、鉄道、公共施設等が揃った都市基盤</li> <li>京急蒲田駅周辺等のまちづくりの進展</li> <li>環境にやさしい自転車利用の多さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒲田駅と羽田空港間の公共交通サービスの弱さ</li> <li>J R・東急線の沿線地域から空港アクセスの不便性</li> <li>蒲田駅と京急蒲田駅間の乖離（800m）と歩行動線のわかりづらさ</li> <li>J R京浜東北線による東西分断とまちへの影響</li> <li>歩行者や乗り入れ車両などで混雑した駅前広場</li> <li>駅や駅前広場の交通結節点等における空間や機能の不足</li> <li>戦災復興土地区画整理事業で形成された古くて狭いまち</li> <li>老朽化が進み機能更新時期を迎えている多くの建物</li> <li>移動のしにくさ、回遊性の不足</li> <li>駐輪場や自転車マナーの不足</li> </ul>
③ 環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>蒲田らしさを生んだ多様性に富むまちなみ</li> <li>下町的な要素を持ったまち</li> <li>親水空間としての呑川沿道</li> <li>地域で行われている緑化活動</li> <li>環境にやさしい自転車利用の多さ</li> <li>人々の憩いの場や自然の存在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>細街路や木造建物が多い一部の地区での防災面での不安</li> <li>減少しない犯罪件数、治安の悪さ</li> <li>統一感の無いまちなみ景観、美観の悪さ</li> <li>呑川の臭気や水質の悪さ</li> <li>景観資源の不足と緑被率の低さ</li> <li>不十分なユニバーサルデザイン</li> </ul>

#### （参考）上位計画における位置づけ

##### 都市づくりのグランドデザイン（東京都／2017年）

<蒲田の将来像>

羽田空港へのアクセス利便性を生かし、駅とまちの一体的な整備や市街地の更新が進み、国際的な産業・業務、宿泊機能が強化され、商業や観光施設等が集積した交流の拠点が形成されています。

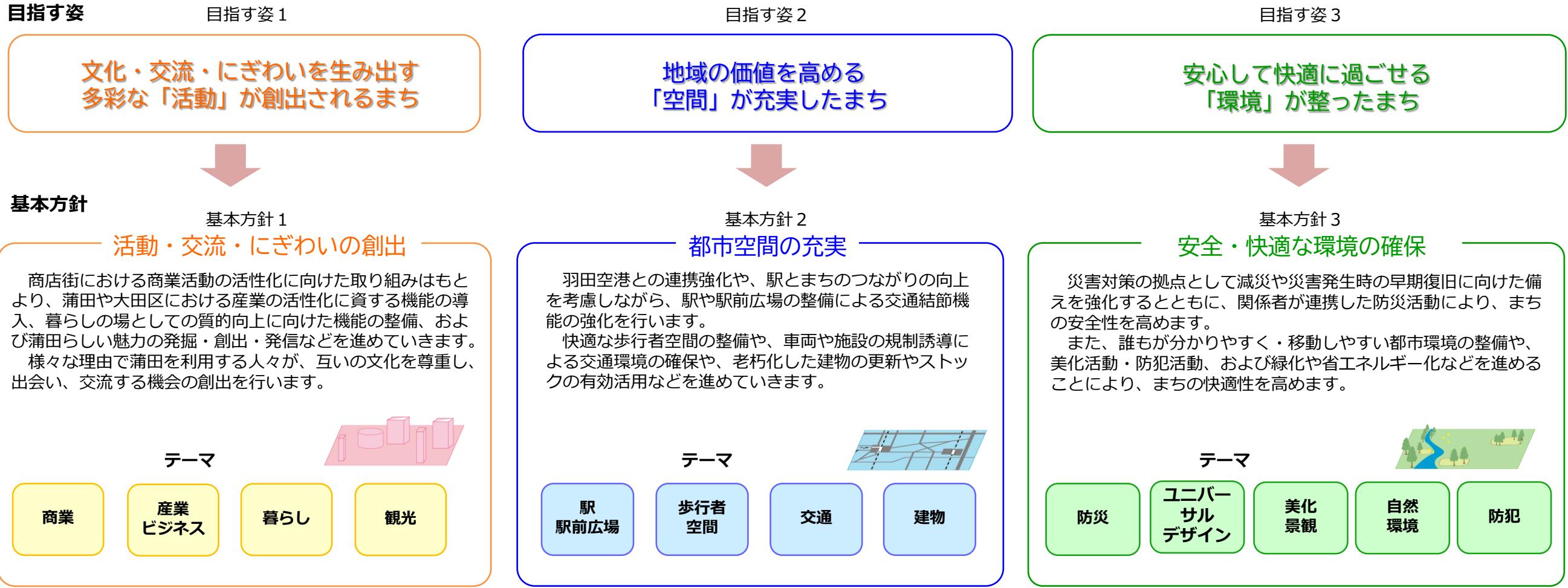
##### おおた都市づくりビジョン（大田区／2017年）

<蒲田駅周辺の将来像> にぎわいあふれる多文化共生の拠点

羽田空港の機能強化や、新空港線整備とあわせた地区の再整備により、さらなる発展を目指します。

# 5. まちづくりの基本方針

「目指す姿」の実現に向けて、蒲田駅周辺地区の特徴や位置づけも踏まえて、まちづくりの基本方針を設定しました。また、各基本方針に基づき、まちづくりにおける「13のテーマ」を設定し、ランドデザインの改定において追加・強化すべき事項を、各基本方針に沿って整理しました。



<ランドデザインの改定において追加・強化すべき事項>

- ・若い単身者や居住者などのニーズにも対応した商店街をつくり、その活力を持続的に向上
  - ・羽田空港跡地第1ゾーン整備事業や新空港線整備と連携して、その効果を蒲田にも波及させ、蒲田の活力を向上
  - ・事業所の減少や外国人の増加を踏まえて、市街地の機能更新にあわせ、国際的な産業・ビジネス機能や交流機能を強化
  - ・外国人も安心して訪れ・暮らすことのできるまちづくり
  - ・居住者の増加に対応するため、市街地の機能更新などに合わせ、生活支援機能を強化
  - ・居住者の増加に対応して、駅周辺の公共施設の再編や活用を検討
- など

<ランドデザインの改定において追加・強化すべき事項>

- ・産官学民が連携したパブリックスペースを活用したイベント等により、地域のにぎわいや交流を活性化
  - ・商業中心軸・呑川軸・東西自由通路・歩行者回遊軸などを対象として、サイン・舗装・植栽等の整備や無電柱化等を推進することにより、歩きたくなる街路空間を形成
  - ・道路と沿道敷地が連携しながら、滞留空間や賑わい空間などを充実させることにより、まちなかの魅力を向上
  - ・駅利用者の増加や新空港線整備にも対応した、駅・東西自由通路・駅前広場の整備
  - ・周辺のまちへと誘導して活力向上にもつなげるような、東西自由通路・駅舎・駅ビル・駅前広場の整備
  - ・駅前広場の有効活用による地域交流の促進
  - ・新空港線とJR線・東急線・京急線の結節機能の強化
  - ・歩行者の安全性や快適性向上のため、駐車場の隔地や集約化などを検討
- など

<ランドデザインの改定において追加・強化すべき事項>

- ・景観づくりに向けた体制や景観ルールづくりなどを進めて、魅力や個性のある商店街の景観整備推進
  - ・増加する外国人（住む人・訪れる）にも対応した、誰もが利用しやすいまちとなるための取り組み
  - ・まちづくり（再開発・共同化・建替え等）と連携した無電柱化の推進
  - ・大規模災害時における帰宅困難者への対応
- など

## 6. まちづくりの目標

まちづくりの基本方針やテーマに基づき、13の目標と取り組みをまとめました。

### 目標1【商業】

#### いきいき元気な商業のまち

駅周辺は、商業を中心に発展してきましたが、居住者の増加や消費者ニーズの多様化など商業を取巻く環境が変化しており、競争も激化しています。商店街の環境整備など多様な人々のニーズに応じた商業の集積を促進するとともに、蒲田らしい食文化などと連携したイベントの開催や情報発信に取り組み多様な人々を呼び込むことで、居住者や来街者でにぎわうまちを創出します。商業で生まれる活力が将来に持続する商業のまちを目指します。

＜取り組み＞  
○活気あふれる商店街づくり

### 目標2【産業・ビジネス】

#### 産業やビジネスが育つまち

新空港線や空港跡地の整備により新たな広域連携軸が形成されるなか、羽田空港の玄関口となり、東京城南地区の産業・経済の活性化をけん引する広域中心拠点としての役割が期待されています。羽田空港との近接性や交通結節性を活かし、業務機能、産業支援機能やビジネス交流機能等の誘導を図るとともに、羽田空港等との連携を強化することにより、価値あるイノベーションを発信する産業のまちを目指します。

＜取り組み＞  
○業務機能の充実 ○産業支援機能やビジネス交流機能の充実

### 目標3【暮らし】

#### 多様な人が快適に暮らせるまち

蒲田は、マンション等の建設、及び羽田空港の国際化などに伴い、居住者・学生・外国人などが増えています。多文化都市として、誰もが安心して暮らせる居住環境を整えることが求められています。生活支援施設の充実を図ることにより、誰もが生活に必要なサービスを受けられ、それぞれのライフスタイルを実現できるまちを目指します。また、地域に暮らす多様な人々の交流により、親しみやすいまちを目指します。

＜取り組み＞  
○生活利便機能の充実 ○地域コミュニティの活性化

### 目標4【観光】

#### 国内外と繋がり、何度も訪れたいくなるまち

羽田空港の機能強化や新空港線整備などに伴い、蒲田を訪れる人の増加が期待されます。また、蒲田特有の文化に、若者や海外の文化が加わるなど、多様化が進んでいます。空港利用者や周辺地域の人を呼び込むために、蒲田らしい観光資源の発掘や情報発信などを進めます。また、多言語化や宿泊機能の充実などを図ることにより、国内外の来街者と住民が居心地が良く、多文化の交流を育むまちを目指します。

＜取り組み＞  
○様々な観光施策の展開

### 目標5【駅・駅前広場】

#### ゆとりを感じる利便性の高い駅と基盤施設

JR・東急蒲田駅を中心とした駅前空間を構成する基盤施設は、駅舎・駅ビルの老朽化、東西連絡通路や駅前広場の機能不足など様々な課題を抱えており、交通結節機能が不十分です。新空港線の整備を最大の契機と捉え、駅舎、駅ビル、東西自由通路や駅前広場などの基盤施設を一体的に捉えた整備を進め、ゆとりある歩行者空間を有し、公共交通の利用がしやすい利便性の高い駅と基盤施設の機能更新を目指します。

＜取り組み＞  
○蒲田駅の再整備 ○蒲田駅東西自由通路の整備 ○駅前広場の整備と活用  
○新空港線への乗り換え・乗降の利便性の確保

### 目標6【歩行者空間】

#### 歩いてめぐり楽しめるまち

蒲田には魅力的な店や場所が各所にあります。幅の狭い道路や通路、人の往来を阻害する車両の存在などにより、魅力的なスポットを巡り楽しむための回遊性や快適性に課題があります。呑川沿いや商店街など道路では、回遊性に配慮した歩行者空間を整備していくとともに、歩行者に配慮した車両の誘導を図るなどにより、思わず歩きたくなり楽しめる歩行者優先のまちを目指します。

＜取り組み＞  
○歩きたくなる歩行者空間のまちづくり ○歩行者に配慮した車両の誘導

### 目標7【交通】

#### 様々な手段で快適に移動できるまち

商店街などでは、回遊性の向上によるにぎわいの創出が求められています。また、駅前や商店街などでは、歩道を自転車が行走するなど、快適な移動に課題があります。歩行・自転車・次世代型の新たなモビリティなどの多様な移動手段の有効活用と、自転車駐車場や自転車利用環境の計画的な整備などにより、人々が快適に移動できるまちを目指します。

＜取り組み＞  
○多様な移動手段の活用 ○自転車利用対策の推進

### 目標8【建物】

#### 建物の更新や活用が進むまち

蒲田駅周辺地区では、老朽化により更新時期を迎えた建物が増えてきています。また、マンションなどの共同住宅の開発により、商店の連続性が欠如するなどの状況も見受けしており、まちの魅力や活力の持続的向上が必要です。建物の共同化・協調化のほか多様な手法による建替えの促進と、リノベーションなどによる既存ストックの有効活用の促進を図ります。低層部には店舗が連続し、中高層階には住宅や業務などの用途がバランス良く導入されたまちを目指します。

＜取り組み＞  
○建物の共同化・協調化・建替えの促進 ○建物ストックの有効活用

### 目標9【防災】

#### 災害に強いまち

蒲田は区役所を有し、災害時の対策本部としての役割を担います。また、住民・就業者・学生などが集中するエリアであるため、住民の避難対応と帰宅困難者対応が同時に求められます。大規模災害時においても、機能継続や早期復旧が可能となるまちを目指して、建築物の耐震化や無電柱化などによる減災対策を進めるとともに、避難対応と帰宅困難者対応を円滑に進めるための体制構築により安心安全なまちを目指します。

＜取り組み＞  
○災害対策の拠点形成 ○減災に向けた取り組み  
○災害発生時における備え

### 目標10【ユニバーサルデザイン】

#### 誰もが使いやすく人にやさしいまち

これまで、道路の段差解消や公共施設のバリアフリー整備などを中心に進めてきましたが、高齢化や国際化などの社会動向も踏まえて、高齢者・障がい者・子ども・外国人などの誰もがが利用しやすい、ユニバーサルなまちづくりが不可欠です。基盤施設のバリアフリー整備を進めるとともに、「どこでも、誰でも、自由に、使いやすい」を基本に、サービスやサインなどの情報提供なども含めた取り組みにより、人にやさしいまちを目指します。

＜取り組み＞  
○ユニバーサルデザインの推進 ○バリアフリー整備 ○サイン整備

### 目標11【美化・景観】

#### 個性と魅力のあるまち

蒲田のまちなかの風景には歴史的な建物を始め、魅力的な場所が多くあります。一方で、路上放置物や看板、広告の無秩序な設置等により、美観が阻害されている場所が数多くあります。多文化都市として誰もが気持ちよく過ごせる環境を整備するため、清掃活動の実施や、清潔感を維持するための意識向上の促進、ルール作りによる景観の一定程度の誘導により、多くの人に受け入れられるまちを目指します。

＜取り組み＞  
○清潔なまちの維持 ○魅力や個性のあるまちなみの確保

### 目標12【自然・環境】

#### 自然を感じ、環境にやさしいまち

蒲田のまちは、緑の総量が少ない、呑川の有効活用ができていないなどの課題から四季や自然を感じることができ空間の形成が求められます。また、近年の夏の猛暑により人々がまちから建物へ誘導されていることも課題です。自然や潤いを感じ快適に留まっていたくため、公園や道路の緑化や呑川の親水空間整備等により、自然と親しめるまちを目指します。また、人々を猛暑から守り、まちなかに留まり過ごしていただくための環境づくりを目指します。

＜取り組み＞  
○呑川沿いの憩いの空間づくり ○緑のやすらぎ空間づくり  
○環境に配慮したまちづくり

### 目標13【防犯】

#### 安全・安心なまち

蒲田は、夜の治安の悪さや犯罪発生件数、違法駐輪など多くの課題があります。課題解決のためには、犯罪発生を抑制するまちの環境づくりが必要です。行政・地域住民・商店会・警察などが連携した防犯活動の実施や、自転車盗難防止に向けた啓発活動等を継続することで、若い人や女性なども含めて誰もが安心できるまちを目指します。

＜取り組み＞  
○犯罪の抑止

※ 取り組みの具体的な内容については、「アクションプラン」として、今後具体的な検討を進めます。

# 7. エリア別の取り組み

## エリア設定の考え方

### 商業中心エリア

JR・東急蒲田駅の東西に広がる商店街を中心とした範囲

### 蒲田駅前拠点エリア

JR・東急蒲田駅・駅前広場・駅前街区等を含む範囲

### 京急蒲田駅前拠点エリア

京急蒲田駅・駅前広場・駅前街区等を含む範囲

### 蒲田駅周辺エリア

蒲田駅前拠点エリアを中心として多用途が集積する範囲

### 商業・業務・住宅複合エリア

商業を中心に業務・住宅系が広がる範囲

### 住宅・業務複合エリア

住宅を中心に業務系などが広がる範囲

### 沿道エリア

環状8号線沿線から約20mの範囲

### にぎわい・回遊軸

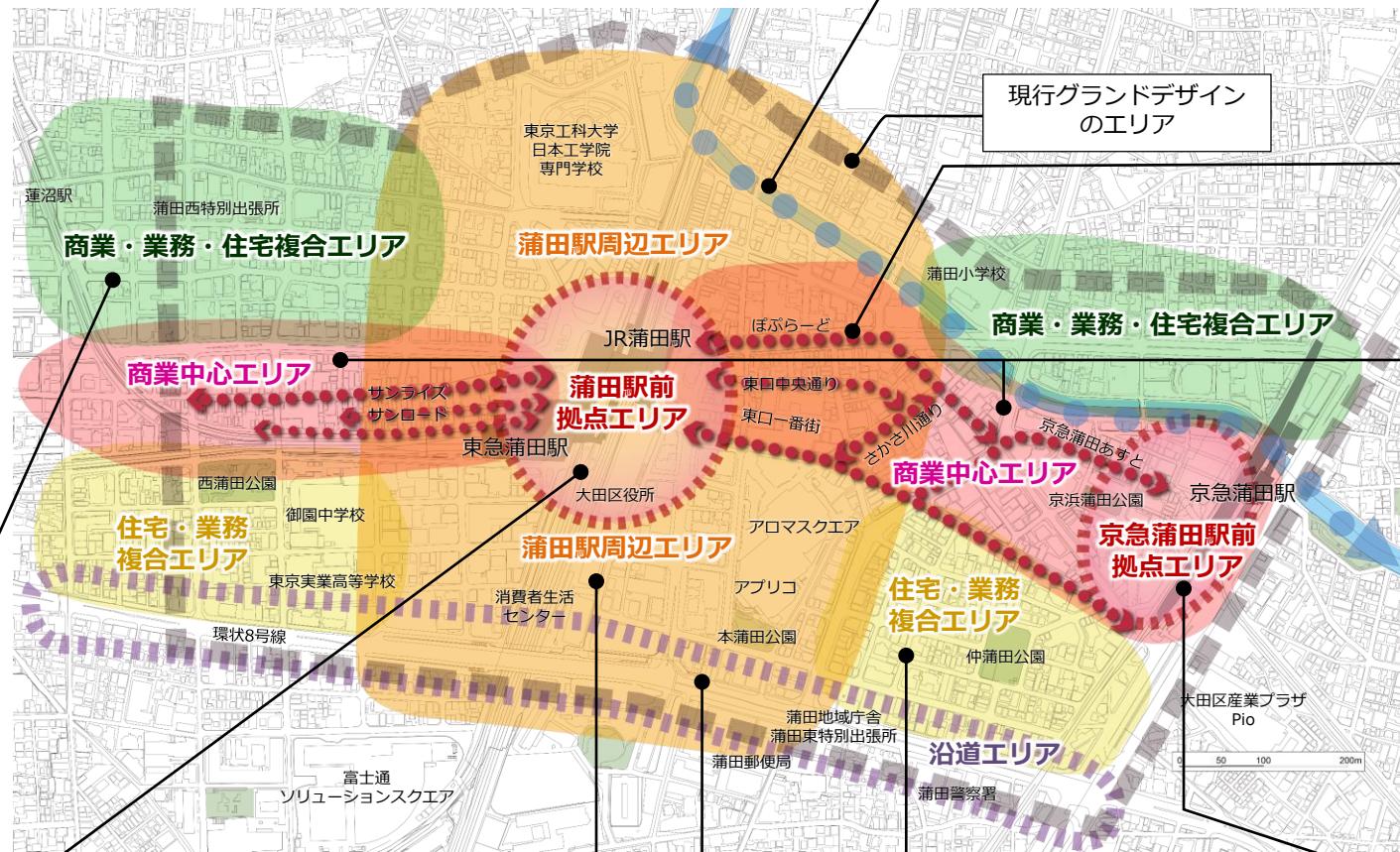
商業中心エリア内のにぎわいが連続する道路沿道等

### 呑川軸

蒲田のまちづくりの重要なポイントとなる呑川

- 現在の土地利用等のまちの特徴を考慮して、6つのエリアと2つの軸を設定しました。
- それぞれのエリアや軸で行う取り組みの方向性を示します。
- 取り組みの具体的な内容については、「アクションプラン」として、今後具体的な検討を進めます。

※ エリアや軸の位置や大きさなどについては今後検討を進めます。



## 商業・業務・住宅複合エリア

### 基本方針1. 活動・交流・にぎわいの創出

- 活気あふれる商店街づくり
- 生活利便機能の充実

### 基本方針2. 都市空間の充実

- 建物の共同化・協調化・建替えの促進

## 蒲田駅前拠点エリア

### 基本方針1. 活動・交流・にぎわいの創出

- 活気あふれる商店街づくり
- 業務機能の充実
- 産業育成機能やビジネス交流機能の充実
- 生活利便機能の充実

### 基本方針2. 都市空間の充実

- 蒲田駅の再整備
- 蒲田駅東西自由通路の整備
- 駅前広場の整備と活用
- 新空港線への乗り換え・乗降の利便性の確保
- 歩きたくなる歩行者空間のまちづくり
- 歩行者に配慮した車両の誘導
- 多様な移動手段の活用
- 自転車利用対策の推進
- 建物の共同化・協調化・建替えの促進

### 基本方針3. 安心・快適な環境の確保

- 災害対策の拠点形成
- 災害発生時における備え
- 魅力や個性のあるまちなみの確保

## 蒲田駅周辺エリア

### 基本方針1. 活動・交流・にぎわいの創出

- 活気あふれる商店街づくり
- 業務機能の充実
- 産業育成機能やビジネス交流機能の充実
- 生活利便機能の充実

### 基本方針2. 都市空間の充実

- 歩きたくなる歩行者空間の創出
- 歩行者に配慮した車両の誘導
- 多様な移動手段の活用
- 建物の共同化・協調化・建替えの促進

### 基本方針3. 安心・快適な環境の確保

- 災害発生時における備え
- 魅力や個性のあるまちなみの確保

## 住宅・業務複合エリア

### 基本方針1. 活動・交流・にぎわいの創出

- 生活利便機能の充実

### 基本方針3. 安心・快適な環境の確保

- 災害発生時における備え

## 沿道エリア

### 基本方針3. 安心・快適な環境の確保

- 減災に向けた取り組み
- 環境に配慮したまちづくり

## 呑川軸

### 基本方針2. 都市空間の充実

- 歩きたくなる歩行者空間のまちづくり

### 基本方針3. 安心・快適な環境の確保

- 魅力や個性のあるまちなみの確保
- 呑川沿いの憩いの空間づくり

## にぎわい・回遊軸

### 基本方針2. 都市空間の充実

- 歩きたくなる歩行者空間のまちづくり
- 歩行者に配慮した車両の誘導

## 商業中心エリア

### 基本方針1. 活動・交流・にぎわいの創出

- 活気あふれる商店街づくり

### 基本方針2. 都市空間の充実

- 歩きたくなる歩行者空間のまちづくり
- 歩行者に配慮した車両の誘導
- 多様な移動手段の活用
- 建物の共同化・協調化・建替えの促進

### 基本方針3. 安心・快適な環境の確保

- 魅力や個性のあるまちなみの確保

## 京急蒲田駅前拠点エリア

### 基本方針1. 活動・交流・にぎわいの創出

- 活気あふれる商店街づくり
- 業務機能の充実
- 産業育成機能やビジネス交流機能の充実
- 生活利便機能の充実
- 地域コミュニティの活性化

### 基本方針2. 都市空間の充実

- 駅前広場の整備と活用
- 新空港線への乗り換え・乗降の利便性の確保
- 歩きたくなる歩行者空間のまちづくり
- 歩行者に配慮した車両の誘導
- 多様な移動手段の活用
- 建物の共同化・協調化・建替えの促進

### 基本方針3. 安心・快適な環境の確保

- 災害対策の拠点形成
- 災害発生時における備え
- 魅力や個性のあるまちなみの確保